

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」栗林南校		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 5世帯	(回答者数)	3世帯
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日	～	令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士や保育士などの専門職が多く、様々な専門的知見を持っており、専門的支援を行えている。	内部研修や外部研修に積極的に参加をして、支援の質をあげている。また校舎にいない言語聴覚士の知見などは他校舎に意見をもらって支援に生かしている。	校舎内外を含めての自己研鑽のための研修の開催。
2	教材の充実	学習支援だけではなく、運動療育やソーシャルスキルトレーニングにも対応できるように教材を買いそろえている。	引き続き学習以外の教材も揃えていながら色々なジャンルの支援に対応できるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	隣のブースの支援の音が聞こえる。	防音対策ができていない。 道路が事業所の目の前があるのでトラックなどが通ると騒音が響くことがある。	防音カーテンや防音パーティションの設置の検討。 音に配慮が必要なお子様には静かな時間をご案内する。
2	指導員間で支援内容が異なる。	個別支援計画から外れた支援が行われていることが散見される。	指導員個人の専門分野の支援をすることを大切にしながらも個別支援計画に沿うように徹底する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ことまサポート教室「きらり」粟林南校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 5名

回収数 3名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1	0	0	その日による	広いスペースが必要なお子様に対しては、支援スペースなどの調整などを行い、できる限りで確保できるように引き続き努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	1	1	特に特別な設備はないが配慮はしてくださる	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	1	まだ通い始めたばかりなので子供の特性をよく理解されているかはわからない	満足いただける支援を提供できるように引き続き努力してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	1		
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	1	0		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	1	1	まだ通い始めのためわからない	フィードバック時や支援時に子育てに関する情報提供をしっかりと行ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	1	まだ十分な理解はされていないと思う	保護者様からの情報共有をしっかりと行ったり指導員間での情報を行ったりする中で共通理解を進めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	1	0	子育てに関する助言は受けていない	どの職員も助言ができるように研修を積んでいき、一層子育てに関する助言ができるように努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	1	きょうだいはいない	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	1	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」栗林南校				公表日	2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	パーティションなどで個室になるように配慮をしている。また利用児の活動内容によって支援室の形を変えるなどの工夫を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	利用者様の利用が多い日に指導員数を多くするなどの工夫は行っている。	特に土曜日など人員的に足りない部分がある。利用者様のことを考えると増員が必要。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	トイレに手すりがある。トイレのピクトグラムなど環境の構造化は行っている。	玩具等が児童の目に届くところにあるので整理が必要であるが、他に物を置くスペースがない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	3	静かな環境を好む利用者様とそうでない利用者様をなるべく時間で区切って音に関してはなるべくの配慮を行っている。	支援が重なると声や物音が他の児童に影響を及ぼすことがある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個室があり、必要に応じて利用を行っている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	校舎ミーティングなどで振り返りは行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価表を年に1度配布して保護者の意向を把握する機会を設けている。把握後は事業所内での周知と共有を行っている。	中途社員へ前年度分の共有ができていない部分がある。この機会に共有をしていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	積極的に情報共有は行っている。児発管や指導員の意見を参考にしながら支援の質の向上に努めている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	実施なし。	実施なし。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修の機会は多く確保されている。	研修の機会が多いが心理学に偏っている。エリアやブロックで専門職の指導員がそれを補ったり自己研鑽研修を行ったりしている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	支援プログラムはHPにて公開している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	利用開始時と半年に一度アセスメントを取り、計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	ミーティングなどで利用者様の情報共有や気になることを適宜共有している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	個別支援計画書を作成して指導員に共有を行っている。指導員も個別支援計画の作成段階に関わり職員一丸となって計画作成をしている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	NCプログラムなどのフォーマルなアセスメント、支援記録などのインフォーマルなアセスメントをあわせながら行っている。	NCプログラムなどの見方を知らない職員もあり、職員間で知識の差がある。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	児発管を中心に児にあった目標の設定を考えている。モニタリングには指導員も参加し、計画作成の際に具体的な支援内容の助言も行っている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	活動プログラムは指導員が考えて、必要に応じてみんなでアドバイスをしている。			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	4	指導員によって固定化は見られるが、児の発達状況にあわせてプログラムを考えるように努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	月に1回程度集団イベントを入れながら、集団と個別に分けて取り組んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	4	支援開始前に毎回ではないが打ち合わせを行っている。	指導員によって思いがあり、指導員間で支援内容がぶれてしまうことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	支援終了後に毎回ではないが振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	支援記録を取ることは徹底している。ただ遅れがちな指導員もいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い、児の現状に合った計画作成に努めている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	担当指導員と管理者または児発管を参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	かど小児科クリニック様と連携体制を取っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者の方が望まれたら情報提供をさせていただいたり園訪問で情報提供をいただくこともある。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	園訪問をしたり学校訪問をしたりしてその中で情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	研修などの中で地域の児童発達支援センターのスーパーバイズをいただくこともある。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		現時点ではそのような機会はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	ミーティングなどで利用者様の情報共有や気になることを適宜共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	契約時に丁寧な説明を行っており、契約書類等はだれでも見える玄関に掲示している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に丁寧な説明を行っており、契約書類等はだれでも見える玄関に掲示している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	どの指導員も子どもの最善の利益を優先考慮をして支援を行っている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて面談やアセスメントを行っている。その際には管理者と担当指導員のように2者以上で関わるが多い。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		父母の会の活動を行うことはしていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	管理者が苦情の窓口になり、苦情対応体制を整備している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的に通信を発行して活動報告を行っている。ただブログと内容が重複している部分もあるのでブログに統一することも考えの1つである。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵付き書庫で厳重に管理をしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	0	5		事業所の行事に地域住民を参加することは現時点ではない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアル類は整備しており、書庫の中に格納するとともに、玄関にマニュアル集は掲示している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	マニュアル類は整備しており、書庫の中に格納するとともに、玄関にマニュアル集は掲示している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントの際に確認するとともに配慮が必要なお子さんの情報は共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食事提供がないため医師の指示書の確認まではできていないが、食べ物を扱う際にはアレルギーの確認を事前に行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	マニュアル類は整備しており、書庫の中に格納するとともに、玄関にマニュアル集は掲示している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全確保計画を作成し、職員にも周知徹底をしている。契約時に避難先などを保護者の方にも周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットを校舎内で共有することはもちろんのこと、匿名にした形で社内でも共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	3か月に1回以上本社からの虐待防止研修があり参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	重要事項説明書に記載しているとともに個別支援計画にも記載がある。		